

タイ 輸出者向けガイド(抜粋)

[米国農務省GAINレポート 2025年6月27日](#)

これは米国農務省海外農業局バンコク事務所(タイ)が作成した「輸出者向けガイド年次報告書」の要旨及びファクトシートを翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

タイは、米国の農産物輸出に大きな可能性を秘めており、2024年の輸出額は14億ドルであった。米国は、タイの消費者向け農産物の供給国として第9位にランクされ、輸出額は4億2,900万ドルであった。このレポートは、市場の概要、輸出機会、現地のビジネス慣行、消費者嗜好のレビュー、市場セクターの構造と傾向に関する情報等、米国の農産物輸出業者がタイでビジネスを行う方法に関する実践的なヒントを提供する。

ファクトシート

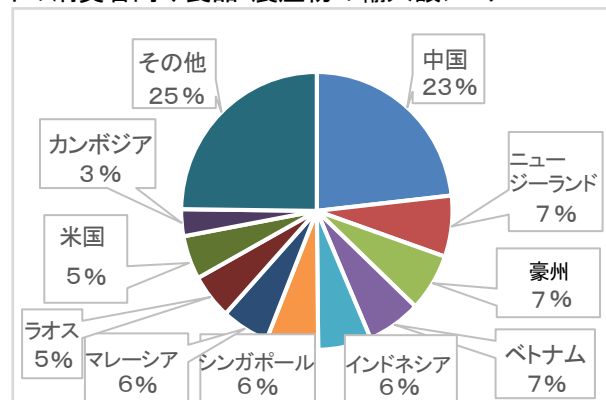
要約

ASEANで2番目の経済大国であるタイは、中間層と消費市場の成長に牽引され、貿易と投資に関して大きな可能性を提供している。タイは、2024年に50億ドル相当の農産物を米国に輸出するとともに14億ドル相当を輸入し、米国にとって23番目の輸出市場であり、15番目の供給国であった。2025年には、2023年よりわずかに多い人口の53.5%が都市部に住み、この率は2030年までに58.4%に達すると予想されており、インフラ、サービス及び消費者向け製品の市場として引き続きチャンスがあることを示している。

消費者向け農産物の輸入

米国は、2024年に4億2,900万ドルの消費者向け農産物をタイに輸出し、9番目に大きな供給国であった。タイの2024年の消費者向け農産物の総輸入額は84億ドルで、2023年から10%増加した。

タイの消費者向け食品・農産物の輸入額シェア 2024年



食品小売業

2024年のタイの食品小売販売額は前年比6%増の79億ドルで、同国の小売総販売額1,320億ドルの6%を占めた。生活費や家計債務の増加といった経済的な課題を背景に、消費者は必需品の購入や価格重視の購入にシフトしており、節約を最大化するため複数の購入経路を利用することが増えている。

食品加工業

タイは、食品加工部門がよく発達した主要な食品・農産物輸出国である。加工食品に対する世界的な需要が高まる中、タイの食品加工業者は国内で入手できない原材料を大量に輸入する必要がある。2024年にタイは280億ドルの加工食品を輸出し、86億ドル相当を輸入した。そのうち米国からの輸入は、2023年より8%多い3億5,700万ドル相当であった。

フードサービス

フードサービスの2024年の売上高は、名目で7%増加し51億ドルとなった。2024年のフードサービスの市場規模は328億ドルと推定される。タイのフルサービスレストランは、主に生活費の高騰に加えて、既存の老舗業者とより広範なフードサービス産業への新規参入者との激しい競争により深刻な課題に直面した。

クイックファクト 2024暦年

消費者向け農産物の輸入額:
84億3千万ドル

伸び率の大きい消費者向け輸入農産物上位品目

1) 乳製品

2) 調製品(調理済み食品)

3) 生鮮果実

4) ナッツ類

5) 野菜の加工品

6) チョコレート及びココア

7) ワイン及び関連製品

8) 果実の加工品

9) 牛肉及び牛肉製品

10) ドッグフード及びキャットフード

流通経路別食品産業の構成

食品小売業	79億ドル
フードサービス(HRI)	328億ドル
食品加工業	360億ドル
食品・農産物の輸出額	509億ドル

タイの上位小売業者

スーパーマーケット

1) セントラルフードリテール

2) グルメマーケット

3) ヴィラマーケット

5) フードランド

6) マックスバリュ

7) CJスーパーマーケット

ハイパーマーケット

1) ロータス

2) ビッグC

コンビニ

1) セブンイレブン

2) ローソン108

3) CJエクスプレス

キャッシュ&キャリア(業務用卸)

1) マクロ

2) Goホールセール

GDP/人口

人口: 6,595万人

GDP: 5,510億ドル(2025年5月18日現在)

1人当たりGDP: 7,830ドル(同上)

出典: 貿易データモニター、ユーロモニター、国家経済社会開発委員会、クルンシイリサーチ、スタティスタ、ロイター、バンコクポスト、スコティッシュインターナショナル

SWOT分析

強み 近代的な流通チャネルを持つよく整備された市場	弱み 国内生産者を保護するための輸入食品・飲料に対する貿易障壁
機会 都市人口の増加と多くの外国人観光客	脅威 タイと自由貿易協定を結んでいる国の製品と比較して、米国製品に対する関税が高い。